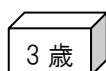


雨上がりの駐輪場。おびただしい数の黒い粒々があったので、毛虫の糞か？こりゃ大変！と箒で掃きはじめると……一斉に動き出した粒々の群れ！そう、粒々の正体は子どもたちの格好の遊び相手、ダンゴムシでした。彼らはなぜか皆同じ方向へ這ってゆくのです。土の匂いがわかるのか、帰巢本能があるのかはわかりませんが、コンクリートの上を、土のある方へと一目散！不思議な光景に、子どもたちが時間も忘れてダンゴムシを眺めている気持ちがわかるような気がしました。ダンゴムシに限らず、アリの行列やその仕事（死んだ虫をせっせと力を合わせて運んでいます）を見つめたり、トカゲやそのエサとなるクモ（見つけると必死で捕まえています）のほか、生まれたばかりの小さなカマキリ等々……お部屋に持ち込んで観察するのが今の季節の定番です。こんな風に小さな生き物と出会い、何を食べるのかな、霧吹きすると気持ちよさそうだね、寝床は土かな、葉っぱかな、等々……調べたり感じたりして、「共生」を考えられる子に育っているようで嬉しくなりました。

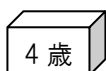
共にといえば、年長さんは先日のコンサートで、みんなで気持ちを合わせて歌う心地よさを感じたようです。このような機会をくださったコールけやきの皆様、ボランティアでご協力いただいた方々、応援してくださった皆様にも感謝申し上げます。2クラス一緒に歌う姿を何度か見せてもらいましたが、日に日に歌声が揃うようになり、みんなとっても良い顔に。こういう体験を積み重ねて行けるといいですね。

先日読んだ本で、巣立つ娘が母親に「季節のものが入ったお弁当やお日様の匂いがするおふとんなどお母さんは毎日を毎日作ってくれた」と話す場面がありました。何気ない、日々のちょっとしたことの積み重ねが心に残っているものなのかも知れません。自分の息子や娘にはどうだったのか、振り返ると胸が痛みますが、幼稚園での毎日は子どもたちのために心して過ごして行かねば……と感じました。やがて来る夏休みも印象深いものとなりますように……年長スペシャル、楽しみです！（坂本）

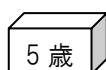
今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ 自分で「やってみたい」という気持ちを持って、身の回りの始末など、自発的に取り組もうとする
- ・ 「入れて」「いいよ」などのやりとりの中で、友達と遊ぶ楽しさを知る
- ・ 水遊びやプールあそびを通して、開放感を味わう



- ・ 経験したことをイメージし、ごっこ遊びに取り入れようとする
- ・ 保育者や友達と一緒にいろいろな水遊びを楽しみ、開放感を味わう
- ・ みんなで使うものを大切に扱い、自分でできることをやってみようとする



- ・ 工夫して必要なものを作ったり、様々な表現を楽しむ
- ・ 友達の思いや自分とは違う意見があることに気づき、受け入れたり、遊びや活動の中に取り入れたりしようとする
- ・ グループごとに協力し、助け合い、励まし合って行動できる
- ・ テーマに沿って意見が言えたり、自分たちで1つの納得できる結論をだせる